

児童福祉審議会 議事録

会議の名称	令和元年度第1回戸田市児童福祉審議会
開催日時	令和元年5月13日(月) 午後2時～
開催場所	市役所7階 第5委員会室
会長等氏名	会長 中村 信成 副会長 永塚 博之
出席者氏名 (委員)	石井 剛 永塚 博之 武内 利行 吉川 博文 中村 信成 日山 秀利 中野 康子 澁川 悦子 遠藤 智子 榎本 潤一 皆上 千里 手島 真由
欠席者氏名 (委員)	岩元 貴博 田所 雅人
事務局	松山部長 梶山参事 石橋課長 太田課長 中沢課長 岩崎課長 大原主幹 御嶽主幹 馬場主幹 岡部副主幹 金子主事 高畑主事
議 題	(1) 第二期戸田市子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査結果について (2) 教育・保育のニーズ量算出方法及び戸田市の現況について (3) 今後のスケジュールについて (4) その他(子どもの実態把握調査における相対的貧困率)
会議結果	1 議題1 原案、承認 2 議題2 原案、承認 3 議題3 原案、承認
会議経過	別添のとおり
会議資料	1 第二期戸田市子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査報告書 2-1 子ども・子育て支援事業計画における「量の見込み」の算出方法について 2-2 戸田市の子ども・子育ての現状について 3 児童福祉審議会スケジュール表 4-1 子どもの実態把握調査報告書(抜粋) 4-2 平成28年度国民生活基礎調査(抜粋)
議事録確定	令和元年7月2日 会長



事務局	<p>～部長以下、各自自己紹介～</p> <p><b>【 資料及び出席委員の確認 】</b>  それではここで、本日の資料の確認をさせていただきます。</p> <p>まず、令和元年度第1回戸田市児童福祉審議会会議次第</p> <p>会議資料(1)といたしまして、第二期戸田市子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査報告書の冊子</p> <p>会議資料(2)といたしまして、子ども・子育て支援事業計画における「量の見込み」の算出方法について  そして、戸田市の子ども・子育ての現状について</p> <p>会議資料(3)といたしまして、児童福祉審議会スケジュール表</p> <p>会議資料(4)といたしまして、子どもの実態把握調査報告書(抜粋)  そして、平成28年度国民生活基礎調査(抜粋)</p> <p>会議資料(2)以降につきましては、事前に送付させていただいております。  以上となりますが、不足している資料はございませんでしょうか。</p> <p>なお、本日欠席のご連絡をいただいております方は、埼玉県南児童相談所副所長の岩元委員、戸田市立小・中学校校長会の代表の田所委員の2名でございます。</p> <p>本日出席されている委員は12名であり、全委員の過半数を超えておりますので、戸田市児童福祉審議会条例 第6条 第2項の規定により、本会議は成立していることをご報告いたします。</p>
事務局	<p><b>【 議事 】</b>  それでは、次に、議事に進みたいと思います。</p> <p>条例 第4条 の規定により、会長は、会務を総理するとありますので、ここからの議事進行を会長にお願いしたいと思います。</p> <p>なお、本日、傍聴人の方が3名来ております。</p> <p>戸田市附属機関等の会議公開に関する指針に基づき、本審議会は、原則公開とし、会議公開基準を設けております。傍聴の手続きを経て、傍聴人の守るべき事項につきましては、事務局より説明済みでございます。</p>

	<p>それでは、会長、よろしくお願いいたします。</p>
会長	<p>【 議事 】</p> <p>それでは、議長を務めさせていただきます会長の中村です。よろしくお願いいたします。</p> <p>では、傍聴人が来られているとのことで、傍聴を許可することといたします。</p>
事務局	<p>&lt;傍聴人を席へ案内&gt;</p>
会長	<p>では、議題（１）について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>それでは、議題（１）第二期戸田市子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査結果について説明します（資料をもとに説明）。</p>
会長	<p>事務局から説明が終わりましたので、何かご質問等ございますか。</p>
委員	<p>幼児教育・保育の無償化が始まったとしても大きく教育の形態や就労の形態を変える人はいないのではないかとということでしたが、実態はどうなのでしょう。保育園を利用されているお母さんは基本的にあまり就労形態を変えないと思われそうですが、幼稚園を利用している15%がもし変えれば、結構な量となります。利用目的と今後の見通しを詰めた方がよいのではないのでしょうか。もう1点、地域の子育て事業の現状と今後の利用希望について、もう少し周知徹底をした方が新たな利用者を獲得できるのではないかとのお話ですが、周知徹底だけではなく、もう少し地域の保育機関、幼稚園機関等も含めて連携が必要なのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>1点目の無償化に関してですが、確かに保育園に通われている方はあまり勤務形態が変わらないのが前提で、今幼稚園に預けているお子さんについて、少し就労時間を延ばしたいというお母さんが、幼稚園の預かり保育の時間をもう少し延ばしたい、今まで使ってなかったけど使いたい、というような希望があるのではないかとすることは、市としても一定の予測はしております。</p> <p>2点目ですが、周知徹底ではなくもっと連携ということがございます。子供は1学年1学年、年齢が上がるわけですし、学童保育室についてはかなりの課題があるのではないかと認識しております。どういう形で整備していくかにつきましては、よく検討をしていきたいと考えております。</p>

会長	他にご意見はありますか。
委員	<p>以前子育て広場を運営していきまして、学童保育室を借りて、月に1回お母さんたちに来ていただいております。月に1回というのはすごく少ない、だからもう少し回数を多くすると良いのではないのでしょうか。回数を増やせば、認知度も広がると思います。</p>
会長	他にご意見はありますか。
委員	<p>親族・知人等の協力者について、緊急時に見てもらえるのは53.8%、いずれもないのが25.1%で、ここに課題があるということでしたが、友人知人に制約を心配せずに預けられるというのが49.3%という点も、評価していいと思います。また、自由記載でも繋がりを持てるような仕掛けを住民の方も求めている、この辺の協力が安心して預けられる関係性に発展すれば良いと思います。</p> <p>もう一点、仕方なく子供だけで留守番をさせた日数で7日と答えた方がいます。こういう数字をしっかりと受け止めた上で、施策化していきたいと思いました。</p>
会長	他にご意見はありますか。
委員	<p>30代後半から40歳前後ぐらいの高齢出産の方がいらっちゃって、同年代のお母さんが少なく話の輪に入れない、相談できないということが現実にあります。そういう方々を一つのターゲットとして、講座やお話会を開くとよいのではないかと思います。</p>
会長	他にご意見はありますか。
委員	<p>病児病後児保育は利用する側の保護者にとっては結構ハードルが高いものがあります。前日もしくは当日に受診をした上で医師の書いた書類を持っていかなくてはならないところがまず一点。どういった病気のときにどういう条件で預入ができるのかという点が公開をされておらず、いざ子供が病気になったときに確認をしなくてはならないところにも利用の難しさを感じます。もう少し詳細な情報があるとよいのではないのでしょうか。また、朝から仕事に行く必要があるときに朝から預けられるようにできないか、ご検討いただきたいと思います。</p>
事務局	<p>病児病後児保育につきましては、利用の方法や定員、対象の児童等については、ホームページ等で周知をしておりますが、実際の内容に</p>

	<p>については施設の他のお子さんへの影響等を勘案しながら運営しています。医者の判断にもよりますが、病状等も把握できませんと、お預けただいて看ることは施設としても難しい状況です。</p> <p>そういったことを踏まえて、また実際どういう病気で利用されているのかも踏まえて、実施運営している施設と協議しながら、方向や、方針について今後検討研究していきたいと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>他にご質問はありますか。</p>
<p>委員</p>	<p>母親が育児休業から希望の時期より早く職場復帰した理由について、希望する保育所に入るための68.1%となっています。親子のベストなタイミングというよりは、行政側の問題で4月入園という形でスタートして、それによって申し込みも殺到するのではないかと考えています。時期の分散化等、柔軟な対応が可能なのかについて教えてください。</p>
<p>事務局</p>	<p>お隣の蕨市では、保育所の予約制度というものを行っておりまして、保護者からすれば、安心して育児休業をとれる制度かと思えます。一方で、その間、例えば転入をされてきた方、お子様がお生まれになった方が本来入れる枠があるのに、入れないという事象も発生をしております。不利益方を被る方もいらっしゃいます。その辺はうまく制度を考えていかななくてはならないと思っております。</p>
<p>会長</p>	<p>他にご質問はありますか。</p>
<p>委員</p>	<p>最後の自由記述について説明が割愛されていましたが、どのように今後扱われるかについて伺いたいと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>時間の都合上割愛をさせていただきましたが、アンケート調査というのは自由記述が大切で、ここにメッセージがあります。自由記述を全く無視するというわけではなく、逆に一番大事な部分として市の施策に反映をさせていきたいと思っております。</p>
<p>会長</p>	<p>他にご質問はありますか。特に無いようですので、議題（2）に進みます。</p> <p>では、議題（2）について、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>それでは、議題（2）教育・保育のニーズ量算出方法及び戸田市の現況について説明します（資料をもとに説明）。</p>

会長	事務局から説明が終わりましたので、何かご質問等ございますか。
委員	最初の資料 2 - 1 で戸田市の計画期間の推計児童数というのがありますが、これが毎年どんどん減っています。大規模マンションが三つ四つ建っていて、戸田市の人口が増えるように私は感じるのですが、この推計は大丈夫でしょうか。
事務局	<p>戸田市の計画期間の推計児童数につきましては、令和 3 年度から策定期間に入ります戸田市第五次総合振興計画の中の人口推計の数値と同様のものを資料にお示しさせていただいております。2015 年の数値をもとにしたコーホート要因法という統計学的な数値をお示ししております。このコーホート要因法には自然動態、出生・死亡と転出入の要素も含まれています。</p> <p>おっしゃられた通り、大規模マンションの建設等ございますが、まずは統計学的なものに基づいた数字を出したうえで検討していきたいと考えております。</p>
事務局	人口は徐々にですが、減ることはなく増えています。落ち着いてきたという言い方が戸田市にとっては正しいのかもしれませんが、相変わらず戸田市は子供が多いというのは事実です。ただ、地域によっては少し減ってきている、増えているという感覚的な部分はあるかもしれません。
会長	<p>他にご質問はありますか。特に無いようですので、議題（3）に進みます。</p> <p>では、議題（3）について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	それでは、議題（3）今後のスケジュールについて説明します（資料をもとに説明）。
会長	事務局から説明が終わりましたので、何かご質問等ございますか。特になければ引き続き、議題（4）その他について、事務局から説明をお願いします。
事務局	それでは、議題（4）その他について説明します（資料をもとに説明）。
会長	事務局から説明が終わりましたので、何かご質問等ございますか。よろしいでしょうか。特になければ最後事務局から他に何かあればお

事務局	<p>願います。</p> <p>特にございません。</p>
会長	<p>委員の皆さんからは何かございますか。</p> <p>他に無いようなので、議事を終了します。</p> <p>それでは、進行を事務局に返します。</p>
事務局	<p>【 閉会 】</p> <p>それでは、閉会のあいさつを永塚副会長よりお願いしたいと思います。</p>
副会長	<p>～副会長あいさつ～</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>本日いただいたご意見等を参考に取りまとめ、会議録につきましては、市ホームページにて公開させていただきます。</p> <p>以上をもちまして、令和元年度第1回戸田市児童福祉審議会を終了いたします。</p> <p>本日はどうもありがとうございました。</p>